

国 語

(解答番号 ～)

※国語は「経済経営学部」および「人文学部」は必須。
「健康医療学部」および「バイオ環境学部」は選択。

本文章は、冒頭枠内の質問に筆者がこたえるという形で書かれたものである。質問も含め文章全体を読んで、後の問いに答えなさい。

1
今の若者は「やるべきこと」「やりたいこと」に関心を持つけれど、自分が「やれること」にはあまり関心を持ちたがらないようです。しかし、これからの世の中で生き残るために必要なことは、「自分は何をやれるのか」を知ることではないでしょうか。

この問いの中で私がいちばん興味を惹かれたのは、今の若者は「やるべきこと」「やりたいこと」には関心があるが、「やれること」には関心がない、という対比における助動詞の使い方でした。これはなかなかいいところを衝いています。

英語で書いたら should と would like to と can です。ね。「ねばならぬ」「したい」と「できる」の対比です。ちよつと古めかしい文法用語で言うと、「当為」「願望」と「可能」です。

ぞつくり言い切ってしまうと、次のようなことになります。

動詞に「当為」と「願望」の助動詞をつけて話すのが「子ども」で、動詞に「可能」の助動詞をつけて話すのが「大人」である。

では、いったいこの二種類の助動詞群の違いはどこにあるのでしょうか。どうして、「可能」の助動詞を使える人間だけが「大人」に類別されるのでしょうか。

私の解釈を申し上げます。

「自分がやらねばならぬこと」「自分がしたいこと」というのは個人的なことからです。それに対して「自分にできること」は公共的なことからです。「個人的なことから」というのは、ひとことでは、他人の同意や参与ぬきで自己決定できることです。「公共的なことから」というのは、他人の同意や承認ぬきでは決定できないことです。

違いはわかりますよね。

「当為」と「願望」を成り立たせるのは、私念です。「自分はそら思う」それだけで十分です。「私は朝の六時に起きねばならぬ」「私はイカ墨スパゲッテイが食べたい」というようなことを言う人がいれば、こちらは「ああ、そうですか」と言えばよろしい。「ま、好きにしたら」です。

当為がめざすのは「自分に対する期待を自分で達成すること」です。願望がめざすのは「自分

の欲望を自分で満たすこと」です。自分が主語の動作の目的が自分自身なのです。再帰的な動作と言つてもよい。

でも、「可能」はそれではありません。

「私には『これ』ができます」という申告は、「これ」ができる人が求められている場においてしか意味を持たないからです。

「可能」というのは、他者の期待を私が満たす、隣人の求めに応じる、というときにしか意味を持たない。

「私は英語が話せます」という能力の申告は、「誰か英語を話せる人いますか？」という求めがあるところでしか意味をもちません。

まず「ニーズ」が示され、その後に「可能」文は発語される。「可能」というのは、要請があった後にはじめて主題化する。まず場が与えられ、それに対して私が反応する。そういう順序の中ではじめて「可能」という助動詞は意味を持ちます。ニーズがないところで「私ができること」をいくら列挙しても、それは空語です。

目覚ましが鳴ったときに、ベッドの中で「さ、起きなくちや」とか「ああ、もつと寝ていたいなあ」というような言葉をひとりつぶやいても、それはきちんと意味を持ちます。というか、そういう使い方がふつうなんです。当為や願望は自己完結できる。

でも、目覚ましを聴きながら「私は朝の六時に起きられます」と言い切るというようなことは、ふつうしません。変だから。誰も聴いてないから。意味ないから。

「……できる」という命題は、その行為を要請する誰かがいないと発されない。発しても意味がない。

これでもうわかりですね、「子ども」と「大人」を分岐する境界線がどこにあるのか。

「大人」というのは、自分が何ものであるか、自分がこれからどこに向かって進んでゆくのか、何を果たすことになるのか、ということ。「自分の発意」や「独語」のかたちではなく、「他人からの要請」に基づいて「応答」というかたちで言葉にする人のことです。

これはすごく大切なことです。

「可能」の文が意味をもつためには、いくつかの条件があります。

(1) 他者がいる。

(2) その他者が何かを欠如させ、それが満たされることを求めている。

(3) 「あなたの欠如を満たすもの、それは私である」という名乗りがなされる。

これだけ条件が整わないと「可能」文は語れないのです。

この三つは、それによつて「人間の社会」が始まる基本条件のようなものです。たぶん、これが人間が人間であるための基本条件なのです。

哲学的な言葉づかいで言えば、それは「飢えているもの、乏しきものとしての他者のセツパク」、
「その飢えを満たし、贈与するものとしての『私』の立ち上げ」という表現に置き換えることも
できます。

いささかナンジユウな言い方ですけど、これは、私の哲学上の師匠であるエマニエル・レ
ヴィナス先生のお言葉を、少し私ふうに書き換えたものです。

他者でも、隣人でも、それが私の視野に、私の可聴範囲に、私が触れることのできるエリアの
中に登場するのは、つねに「何かを欠いたもの」としてです。

「他者とは寡婦、孤児、異邦人である」。

レヴィナス先生はそう言われておりました。配偶者のいない人、保護し扶養してくれる人のい
ない人、身よりもなく、知り合いもおらず、言葉も通じないで途方に暮れている人、そのような
人が「他者」である、と。

これはよく考えると、不思議な定義ですね。

「他者」というものがまずいて、その人に配偶者がいたり、いなくなったり、親がいたり、いなくな
ったり、故国にいたり、イキョウにいたり、いろいろな様態を取るといふ話ではないんです。愛し
てくれる配偶者のいるもの、保護養育してくれるものがあるもの、友人知人に囲まれて不安なく
暮らしているものはとてあえず他者にカウントされない。

私のお師匠さまはそういうことをおっしゃっているのです。

他者というのは本体があつて、それにいろいろな属性がくつついている、というかたちでは存
在しない。他者というのは「もの」ではなくて、「モード」だからです。

孤立し、飢え、渇き、不安のうちにあるもの、それが「他者」である、と。

そして、そのようなものを支援し、飢えや渇きを癒し、安心させるものとしてはじめて「私」というものが出現する。そういう順番なんです。

まず欠如があり、それに反応するかたちで「その欠如を埋めることができるもの」としての私
が基礎づけられる。ふつうとは順番が逆転しているんです。

「私」は「自分にできること」のリストを手にとって、「他者」の到来を、お店でお客さんが来るのを待つように、ぼんやり待っているわけではありません。そうではなくて、他者はまず孤立と飢餓と不安のうちに登場する。だから取り急ぎそれを何とかしなければならぬ。そのときに「あ、じゃあ、私が何とかします」と名乗る人が出現する。それが「私」なんです。

Ⅳ
まず欠如があり、「私」の登場はその後なんです。まず^ア他者からの「呼びかけ」があり、それに「はい」と答えた人が出てきた。それが^イ「私」である。

わかりにくい話ですみません。

V
別の^{たと}喩えを使って説明してみましよう。

むかし、ロシアのウラジミール・プロップという学者がいました。彼はロシアの古い民話を採集して、民話に共通する物語の「構造」があるのではないかと考えました。2000ほどの民話を調べたそうです。

そしてプロップはそれらすべてが同一の構造^Dの変奏であることを発見したのです。31の説話単位と、7種類の登場人物だけで、すべての民話は構成されていました。もちろんその全部が使われるわけではありません。わずかな説話単位と登場人物だけでできている民話もありますし、フルに活用している複雑な民話もあります。でも、31の説話単位が物語に出てくる順番は絶対に変わりませんでした。

さて、物語の最初はどんな出だしたと思いますか。これはすべてに共通しているんです。

それは「家族の誰かがいなくなる」です。

すべての民話は「家族の誰かがいなくなる」（悪魔にさらわれる、壁の向こうに消えてしまう、井戸に落ちるなどなど）から始まります。

それに続くのは「それを見つけ出すことを残った家族たちは願う」です。王女さまが怪物に拉致されてしまった。王様が悲嘆にくれている、というような状況です。

その後にはじめて「主人公」が登場します。

「あなたが失ったものを私が見つけ出します」と名乗るもの、それが主人公です。

主人公は王様の依頼を受けて旅に出ます。そして、「よい魔法使い」に会って「魔法の道具」を手に入れたり、「高性能の移動手段（馬とか、船とか、^{魔法}驚とか）」を提供されたりしたあと、最後に「悪もの（ドラゴン、悪い魔法使い）」の住む「城」にたどりつき、「悪もの」を倒して「探しもの（王女、宝物、秘密の文書）」を^dダツカンします。

これはロシアに限らず、ほとんどすべての民話に共通する普遍的な構造です。^(注)RPGのストーリーもまずこれと同じです。このようなワンパターンが選好されるのは、もちろんその話形に人類学的に深い意味があるからです。

それは「^{vi}民話の主人公のように生きなさい」という命令です。

子どもの頃からこのようなワンパターンの民話を聞かされて育った子どもたちに刷り込まれるのは、「物語の主人公」（哲学的に言えば「主体」、本文の趣旨に沿って言えば「大人」ということ^oとです）になりたかったら、「何かを欠如させて困っている人に出会ったら、^oためらわずそのコンセイに^o応えなさい」ということです。

プロップの民話の形態学の知見のうちで、みなさんにぜひご理解いただきたいことは、主人公は「家族の誰かが欠落して悲嘆にくれている場」に通りかかるまでは何ものでもない、ということ^eとです。

どんな人間的特徴をもち、どんな能力を持っているのか、物語では何も語られません。語りようがない。だって、存在していないから。

主人公は「助けを求める人」のコンセイに応じたときに、「助けを求める人のコンセイに応じるもの」としてはじめてその存在を基礎づけられます。助力に応じないで、「あ、ちよつとオレ、『自分がやらなければならないこと』や『自分がやりたいこと』があるから」とすたすたと通り過ぎるものは決して「主人公」にはなれない。そういうことです。

(内田樹『困難な成熟』より)

(注) RPG…ロールプレイングゲーム。プレイヤーが物語の主人公を演じ、さまざまな試練を乗り越えながら目的の達成をめざすゲーム。

問一 文中の傍線部 a ～ e に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、1 ～ 5。

- a セツパク 1
- ① シンパク数が増える
 - ② 意志ハクシヤクな人
 - ③ タンパクな性格
 - ④ ハクシンの演技
 - ⑤ 資格をハクダツする
- b ナンジュウ 2
- ① ジュウナンな対応
 - ② 連休のジュウタイ予想
 - ③ ジュウレツ駐車
 - ④ ジュウセキを担う
 - ⑤ 絶対フクジュウの態度
- c イキョウ 3
- ① キョウシユウを誘う歌
 - ② キョウハク事件
 - ③ ガイキョウを伝える
 - ④ キョウシヨウ住宅
 - ⑤ エツキョウして亡命する
- d ダツカン 4
- ① アクジュンカンに陥った
 - ② ドルにカンサンして支払う
 - ③ 今年カンレキを迎えた
 - ④ 阿鼻キョウカン
 - ⑤ カンニン袋の緒が切れる

e コンセイ

5

- ① コンシン会に参加する
- ② チンロン歌をささげる
- ③ コンメイをきわめた
- ④ エンロンによる犯罪
- ⑤ 生活がコンキエウする

問二 傍線部 A ～ E の語の文中における意味として最も適当なものを、次の各群の ① ～ ⑤ のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、6 ～ 10。

A 命題

6

- ① 課せられた問題
- ② 題名を付けること
- ③ あることをするように言いつけること
- ④ 判断の内容を言語で表したもの
- ⑤ 実質のない、形式だけのもの

B 寡婦

7

- ① 配偶者のいない成人女性
- ② 夫と死別または離婚し、再婚していない女性
- ③ 戸籍上、身寄りのない女性
- ④ 労働に従事し、子を持たない独身女性
- ⑤ 配偶者を持たずに、子育てをしている女性

C 途方に暮れて

8

- ① 行方がわからなくて
- ② 道理に合わなくて
- ③ 開き直って
- ④ 手段がわからなくて
- ⑤ 絶望して

D 変奏

9

- ① デフォルメ
- ② バリエーション
- ③ フィーチャリング
- ④ オマージュ
- ⑤ デモンストレーション

E 知見

10

- ① 直感的な理解や認識
- ② 鋭い推察
- ③ 聞きかじりの知識
- ④ 大局的な視点
- ⑤ 優れた判断や意見

問三 傍線部Ⅰ「今の若者は『やるべきこと』『やりたいこと』に関心を持つけれど、自分が『やれること』にはあまり関心を持ちたがらないようです。しかし、これからの世の中で生き残るために必要なことは、『自分は何をやれるのか』を知ることではないでしょうか」という問いに対する筆者の答えとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は、**11**。

- ① 「やるべきこと」をしつかりやっつけていけば、^{おの}自ずと「やれること」も増えてくるものだ。
- ② 「やるべきこと」や「やれること」よりもまず、「やりたいこと」を優先するべきだ。
- ③ 「やれること」を増やして能力を高めた者が、世の中では大きな存在価値を持つ。
- ④ 他者のために「やれること」を表明しない者は、世の中に存在しないのと同様である。
- ⑤ 他者の要請にいつでも応えられるように「やれること」を増やして、備えるべきだ。

問四 傍線部Ⅱ「人間が人間であるための基本条件」の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は、**12**。

- ① 人間が、人間社会の中で、大人として機能するための必須事項
- ② 人間が、人間社会の中で、自分らしくふるまうための必須事項
- ③ 人間が、人間社会の中で、他者から有用とされるための必須事項
- ④ 人間が、人間社会の中で、他者の要請を実現するための必須事項
- ⑤ 人間が、人間社会の中で、自己完結を実現するための必須事項

問五 傍線部Ⅲ『もの』ではなくて、『モード』の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は、**13**。

- ① 一般的な人間ではなく、ある状況におかれた人間だけを指す言葉だということ
- ② ある人間を、ある状況を伴った場合にのみ指す言葉であるということ
- ③ 実際には存在しない人間を、存在していると仮定して指す言葉であるということ
- ④ 人間そのものではなく、人間がおかれた状況のみを指す言葉であるということ
- ⑤ ある属性を伴った人間を、その属性とともに指す言葉であるということ

問六 傍線部Ⅳ「まず欠如があり、『私』の登場はその後」の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は、**14**。

- ① 他者の呼びかけがなければ、「私」は応える必要がないということ
- ② 欠如があつてはじめて、「私」の存在感が認識されるということ
- ③ 他者の要請に応えなければ、「私」の有用性が認められないということ
- ④ 他者がいなければ、「私」は存在そのものがないということ
- ⑤ 欠如があつてはじめて、待機していた「私」が表出するということ

問七 傍線部Ⅴ「別の喩え」とあるが、傍線部ア「他者」の喩え、傍線部イ「私」の喩えとして最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、「他者」が**15**、「私」が**16**。

15 ア 他者

- ① 王女さま ② 怪物 ③ 王様 ④ 主人公 ⑤ よい魔法使い

16 イ 私

- ① 王女さま ② 怪物 ③ 王様 ④ 主人公 ⑤ よい魔法使い

問八 傍線部Ⅵ「民話の主人公のように生きなさい」の説明として最も適当なものを、次の①～

⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は、17。

- ① 困っている人がいたら力を尽くして、その人の願いをかなえるべきだということ
- ② 困っている人の要請を受けたら、無視しないでそれに対応するべきだということ
- ③ 家族の誰かがいなくなったら、無事帰れるように全力を尽くすべきだということ
- ④ 困っている人の要請に対応できるように、「やれること」を増やすべきだということ
- ⑤ 困っている人を見かけたら、「やるべきこと」をしつかりやるべきだということ

問九 本文の内容に従ってキーワードを表にまとめた。空欄（ i ）～（ v ）に

入る最も適当な語を、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。解答番

号は、（ i ）が18、（ ii ）が19、（ iii ）が20、（ iv ）
が21、（ v ）が22。

子ども	当為・願望	個人	自分の発意・ （ iii ）	自己完結 できる	非在
大人	（ i ）	（ ii ）	応答	（ iv ） が必要	存在・主人公 （ v ）

18 （ i ）

- ① 対比
- ② 可能
- ③ 要請
- ④ 期待
- ⑤ 承認

19 （ ii ）

- ① 集団
- ② 能力
- ③ 再帰
- ④ 公共
- ⑤ 他人

（次頁に続きます）

20 (iii)

- ① 発語 ② 英語 ③ 空語 ④ 物語 ⑤ 独語

21 (iv)

- ① 条件 ② 他者 ③ 家族 ④ 申告 ⑤ 構造

22 (v)

- ① 欠落 ② 命令 ③ 主体 ④ 探しもの ⑤ 王様

問十 この文章の表現上の工夫についての説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は、23。

- ① 難解な哲学を下敷きとしながらも、とっつきやすい問答形式にして、くだけた話し方でひきつけ、最終的には現代の若者に深い哲学の知識を知らしめる文章になっている。
- ② 冒頭の質問に答える形で、独自の哲学用語をまじえながら、時にはラフな会話文や比喩を挿入し、結論としては強い説得力で若者に慈善活動を勧める文章になっている。
- ③ くだけた会話文のやりとりで、終始斬新な視点を取り入れ、時には横道にそれながらも、最終的には現代の若者にやる気と勇気を与える啓発的な文章になっている。
- ④ 現代の若者に向けた文章であるが、同じ目線の高さから現代社会を広く見渡し、哲学を取り入れることで若者が生きやすくなるよう励ます文章になっている。
- ⑤ 平易な語り口調で比喩を多用しながら、現代の若者が社会をどう生き抜いていくかについての持論を、哲学的考察を土台にしてわかりやすく説く文章になっている。

二

次の問一と問二に答えなさい。

問一 次の図は、日本の転職者について、総務省による労働力調査に基づいて作成したものです。

読んで、後の問いに答えなさい。

図1 転職者数及び転職者比率の推移
(転職者数)

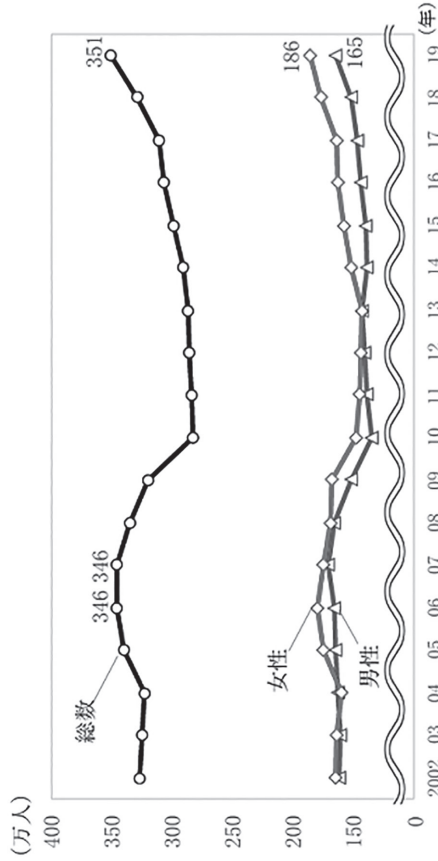
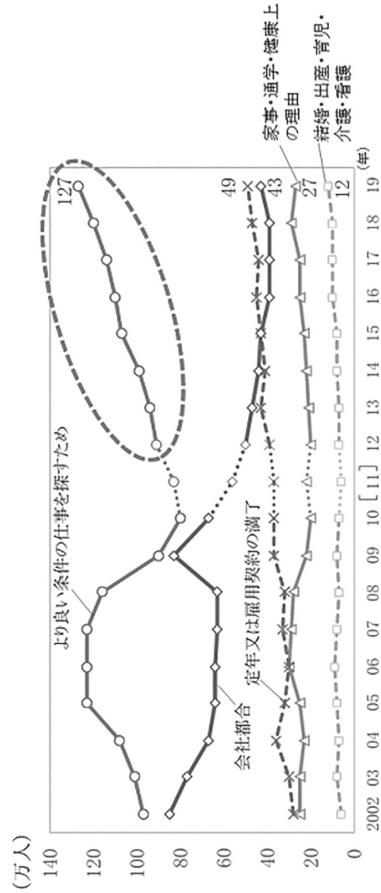


図2 前職の離職理由別 転職者数



<https://www.stat.go.jp/data/roudou/topics/topi1230.html>

※2011年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く結果

(1) この表および統計局ホームページの記載に基づいて、以下のように説明文を作成した。空欄に入る語句として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、Aが **24**、Bが **25**、Cが **26**、Dが **27**、Eが **28**、Fが **29**。

転職者数の推移をみると、2006年及び2007年(ともに346万人)(A)、2008年のリーマン・ショックの発生後、2010年にかけて(B)。2011年以降は(C)2019年は351万人と、比較可能な2002年以降で過去最多となった。男女別にみると、2002年以降、(D)。

転職者について前職の離職理由をみると、事業不振や先行き不安などの（ E ）により前職を離職した転職者は、リーマン・ショックの翌年の2009年に（ F ）、2013年以降は減少傾向で推移している。

一方で、「より良い条件の仕事を探すため」は、2013年以降増加傾向で推移しており、2019年は127万人と、2002年以降で過去最多となった。

24

A

- ① までは減少傾向だったが
- ② をピークとして
- ③ が過去最多だったが
- ④ を皮切りに
- ⑤ を最後に

25

B

- ① 大きく減少した
- ② わずかに減少した
- ③ 約半数にまで落ち込んだ
- ④ 増加傾向に転じた
- ⑤ 大きく増加した

26

C

- ① ほぼ横ばいで推移し
- ② 急激な増加に転じ
- ③ わずかながら増加し
- ④ 緩やかな増加傾向で推移し
- ⑤ 転職者数が回復し

27

D

- ① 女性の転職者数が男性をおおむね上回る水準で推移している
- ② 女性の転職者数が男性の転職者数を大きく上回って推移している
- ③ 男性の転職者数が横ばいなのに対し、女性の転職者数は増加の一途をたどっている
- ④ 女性の転職者数がやや増加傾向にあり、転職者数全体の増加の要因となっている
- ⑤ 男性の転職者数が減少しているのに対し、女性の転職者数は増加している

28

E

- ① 「結婚・出産・育児・介護・看護」
- ② 「家事・通学・健康上の理由」
- ③ 「会社都合」
- ④ 「定年又は雇用期間の満了」
- ⑤ 「より良い条件の仕事を探すため」

29

F

- ① 前年の倍近くにふくれあがったが
- ② 緩やかに上昇したが
- ③ トップに躍り出たが
- ④ 大きく減少したが
- ⑤ 大きく増加したが

(2) SさんとTさんはこのデータを見ながら話しています。空欄に入る語句として最も適切なものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、Gが

30、

Hが

31、

Iが

32。

Sさん 図2を見ると、「より良い条件の仕事を探すため」が転職の理由になっている人が大幅に増加しているね。どうしてだろう。

Tさん そうだね。今までは終身雇用といって、企業倒産などがない限り定年まで企業で働き続けられるという慣習が一般的だったが、最近はその雇用形態が（ G ）と言われているんだ。一定期間のみ契約する非正規雇用や、実際の仕事に合わせて人材を採用するジョブ型雇用が増えてきた。こういう働き方の変化と、転職の理由の推移が関連するんじゃないかな。

Sさん なるほど。面白いね。たしかに前職の離職理由を見ると、（ H ）可能性も考えられるね。じゃあ、（ I ）のデータを合わせて見れば、転職についての実態がもっとよくわかるかもしれないね。

30 （ G ）

- ① 一層強くなってきた
- ② 社会問題になってきた
- ③ 崩れてきた
- ④ 企業に利用されてきた
- ⑤ 矛盾している

31 （ H ）

- ① 「より良い条件の仕事を探すため」という理由は爆発的に増えていて、サイドビジネスを始めるひとが増えてきた
- ② 「結婚・出産・育児・介護・看護」の項目はほぼ横ばいで、ライフステージに合わせた多様な働き方を企業が認めている
- ③ 「家事・通学・健康上の理由」という理由がわずかながら増加して、状況に合わせた様々な働き方が模索されている
- ④ 「定年又は雇用期間の満了」という理由が増加傾向にあつて、契約期間が短い仕事が増えている
- ⑤ 「定年又は雇用契約の満了」という理由が「家事・通学・健康上の理由」を逆転していて、多くの人が定年を迎えている

- ① 年齢別の転職者比率や非正規雇用の割合の推移
- ② 一か月の就業日数の推移や就業時間の増加及び仕事の追加の可否
- ③ 求職者の配偶の関係や世帯員の移動状況
- ④ 前職をやめた時期や前職の企業全体の従業員数
- ⑤ 現職の雇用形態についている理由や転職などの希望の有無

問二 次のコラムは、▼を付した最初と最後の段落以外は順序が正しくありません。これを読んで、後の問いに答えなさい。

▼ まず小ささ、そして重さに驚く。つまんだ指先から意外な柔らかさも伝わってきた。歴史教科書でおなじみの国宝「金印」を、製作当時の技法で復元する試みが成功したと聞き、県立福岡高校で見せてもらった。

- ① 復元したのは、考古学者や技術者らでつくる「九州鑄金研究会」。代表の宮田洋平福岡教育大教授(62)らが4年前に着手し、蠟ろう型がたなど古代からの技術で試作を重ねた。失敗するたび地金を溶かし直し、精度を高めた。
- ② 鑄金工芸家の遠藤喜代志さん(72)は「つまみ(鈕)と印面とで完成度があまりに違うことに驚きました」と話す。「漢委奴国王」と彫られた印面は精緻(せいせい)なのに、へびをかたどった鈕は不格好だ。奴国の位置を勘違いしていたため、北方向けのラクダを急ぎよ南国向けのへびに作り替えた。そんな説を聞き、遠藤さんは得心した。
- ③ 紀元57年、倭(わ)の奴国(なまこく)が後漢の洛陽へ使者を送った際、光武帝から受け取ったとされる印だ。江戸後期、福岡県の志賀島で見つかった。だが出土状況があいまいで、偽物説もある。

④ 鈕を凝視してみた。ずんぐりしたへビは、途中までラクダだったなら合点がいく。ウロコ模様も大慌てで打ち込んだかのようだ。「しまった。奴国って北の国じゃなかったのか。うわずつた声が聞こえる気がした。

▼ 2千年前の超大国にとっては外交上の凡ミスだったか。はるか洛陽の都まで赴いた奴国の使者も、押し頂いた金印がよもやそんな の産物だったなどと思ひもしなかつたにちがない。

(朝日新聞2022年7月30日 承認番号(24-0972) ※朝日新聞社に無断で転載することを禁止する)

(1) それぞれの段落を正しく並べると、順序はどうなりますか。それぞれの位置に入る最も適当なものを、①～④のうちから一つずつ選びなさい。(完全解答) 解答番号は、 ～ 。

▼最初の段落―()―()―()―()―▼最後の段落

(2) 空欄Xに入る最も適当な語句を、次の①～⑤から一つ選びなさい。解答番号は、。

- ① 昼夜兼行 ② 突貫作業 ③ 粗製濫造 ④ 大量生産 ⑤ 唯一無二

以上で問題は終わります。